

## 氷上回廊水分れフィールドミュージアム 開設記念講演にさかなクンが登場

3月20日、氷上町石生にある「水分れ資料館」が「氷上回廊水分れフィールドミュージアム」としてリニューアルオープンしました。「氷上回廊」という独特の地形や、この地に生息する生き物・文化などを総合的に学べる施設です。

同日に行われた記念講演会には、テレビでも人気のさかなクンが登場し、来場者に「きれいな水にしか生息できない魚を守るため、環境にやさしい生活を送りましょう」と語りかけました。



イラストを描きながら講演するさかなクン

## 地元の食材をおいしく食べて 若手農業者が道の駅に米を出荷

青年農業者の技術・経営力向上のために、市内の若手農業者で構成された「丹波大空の会」が、道の駅「丹波おばあちゃんの里」のフードコートなどで使用される米を出荷する取り組みを始めています。市内外の来館者に、地元の安心・安全な農産物を食べてもらい、地産地消を促すことがねらいです。

同会のメンバーは「各農家が責任を持って栽培した一等米をぜひ楽しんで」と話しました。



丹波大空の会のみなさんと、道の駅で調理などを担当するスタッフのみなさん

## 子どもの学びを深めるために 児童書を寄贈



目録を手渡すパナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部のみなさん

3月23日、パナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部が、春日図書館に児童書51冊を寄贈しました。同組合は平成21年以降毎年1回、図鑑や児童書を春日図書館に寄贈しています。

同組合の高島広平副支部執行委員長は「子どもたちには本を読んで自分の課題を見つけ、将来に役立ててほしい」と話しました。

## 色彩豊かなひな人形 春の彩り 丹波かいばら雛めぐり開催



メイン会場であるかいばら一番館のひな人形を眺める来場者

4月4日まで、柏原地域の店舗や公民館など10箇所で江戸時代から現在までのひな人形を展示する「丹波かいばら雛めぐり」が開催されました。かいばら一番館の展示は今年が初めてで、七段飾りやつるしびななどが並びました。

来場者は「部屋いっぱい飾られたひな人形に圧倒されました。色鮮やかでとてもかわいかったです」と話しました。

## 懐かしいアニメの世界を体験 エイケン制作のアニメ画を展示

テレビアニメ「サザエさん」などのアニメを制作した「エイケン」の創設から50年をふりかえり、「鉄人28号」や「エイトマン」など39作品の原画・セル画、絵コンテなどを展示する展覧会が、5月30日（日）まで植野記念美術館で行われます。

来場者は「子どもの頃にテレビで見たことや主題歌を思い出しました」と昔を懐かしみました。



館内に展示されたサザエさんのタペストリーを眺める来場者

## 丹波交通安全協会が ランドセルカバーを寄附

3月16日、慣れない通学路での交通事故から新1年生を守るため、丹波交通安全協会から市内全新生506人分のランドセルカバーが寄附されました。

カバーを受け取った岸田教育長は「このランドセルカバーをしていると、目立つ色なので運転中のドライバーからも見やすくなる。安全に登下校するために使わせていただく」と答えました。



ランドセルカバーを渡す丹波交通安全協会会長の石川憲幸さん（写真左）と岸田教育長

## ワールドマスタースゲームズ 2021 関西 囲碁ボールリハーサル大会を開催



囲碁ボールを楽しむ参加者

来年5月に開催されるワールドマスタースゲームズに向けて、市発祥のニュースポーツ「囲碁ボール」のリハーサル大会が3月21日、柏原住民センター体育館で行われました。同大会は30歳以上であればだれでも参加できる国際大会で、この日は市内外から32チームが参加しました。

参加者は、「大会を通じて、囲碁ボールの競技人口がもっと増えればうれしいです」と話しました。

## 有機農業などを学んだ12人の受講生が 農の学校を卒業



卒業発表を行う受講生（写真奥）

3月16日、ライブピアいちじまで、農の学校2期生の卒業式が行われ、12人の受講生が就農や「半農半X」など農のある暮らしに向けて新たな1歩を踏み出しました。式に先立って行われた卒業発表では、1人1人が学校での学びを通して具体的に計画した将来の夢などを説明しました。

受講生たちは「支えてもらった多くの人とのつながりを大切に、農業を続けていきたい」と話しました。